

第4回名張市都市マスタープラン改定検討委員会の要旨

日時：平成21年11月20日（金） 13時30分～15時30分

場所：名張市役所2階 庁議室

【委員】 全体として、まわりくどい言い回しや、送り仮名のばらつき、あるいは一般的に用いない用語などが見受けられるので、整理が必要である。

事務局で持ち帰って整理する。【委員長・事務局】

【委員】 名張市の都市計画の基本的な方針について議論している間も、その方針に沿わない美旗地区のノーベル製菓の進出という新たな開発が市によって進められ、三重県からはこの部分を工業エリアにしてはどうかといった指摘を受けている。都市マスタープランに対する事務局や市の姿勢に問題があるのではないか。

ノーベル製菓については、市外に出て行くのを留めた点では評価できるが、古墳群や観阿弥創座の地に誘致することは不適切である。過去には、都市マスタープランの方針に基づき、ジャスコが大規模な店舗を小波田地内の優良農地に立地しようとした時に反対した。

美旗地区のノーベル製菓の立地については、美旗地域のビジョンの中で位置付けられ、地域住民の総意によって認められたものであり、土地利用マスタープランの特定整備区域の考え方に沿っていると認識している。そこでは、古墳群や観阿弥創座の地としてこれを活かした計画についても策定されており、適切な手続きによる工場誘致である。【事務局】

今後、他のところでも同様の手続きを踏んでいくと理解しておく。【委員長】

【委員】 名張市西部からの名阪国道へのアクセス道路については、担保性がないということで記載していないと住民説明会で説明しているが、担保性のないことであっても、必要と考えること、市民に夢を抱かせることについても、名張市の意思として、また市民の願望として記載してもよいのでは。

市としては、名張市西部からの名阪国道へのアクセス道路は必要であると考えており、都市マスタープランにおいても事務素案から素案にする段階で書き加えている。住民説明会での質疑応答表の記載が誤解を招く表現になっているので訂正する。【事務局】

他の自治体では、こうしたプランをつくるときに、まず住民に夢を語ってもらい、それを前段に書き込み、行政が書き込む担保性を必要とする部分については、後段に置くといった手法でつくっているところもあるので、今後の参考とされたい。【委員長】

【委員】 名張川について、公園・緑地・河川といった環境に重点を置いた記述となっているが、内水対策について防災で記述していることもあり、バランスが悪いのではないか。昨年度制定した淀川の河川整備計画で名張川の改修があり、これは名張地区の防災にとって重要な案件であることから、整理してもらいたい。

名張川の改修は積年の課題であり重要な案件であることから、ご指摘を十分に尊重してその取組を盛り込ませて頂く。【事務局】

【委員】 ビジョンについては、今の名張市を持続するだけ守るだけではなくて、みんなが夢と希望、勇気を持てるようなフレーズに変更して欲しい。

そこで議論のたたき台として「住みたいまち 訪れたいまち なばり 織りなす資源が育

む環境未来都市 にぎわいも くらしも きずなも とわに」を提案する。

ビジョンについては、住民説明会においても特に重点を置いて説明してきたが、特に意見を頂かなかった。したがって、地域のみなさんには特段の違和感もなく受け取られたものと理解しているので、そういったことも含めて検討させて頂く。【事務局】

今回の議論を含め、最終報告の内容及び素案の修正については、委員長預かりとし、当検討委員会としての会議開催は今回で終了とする。